



小清水小学校 学校だより

羽ばたけ

平成30年7月21日 <第7号>

「あいさつ」ができる関係づくり

小清水町立小清水小学校長 可児 隆洋

□「あいさつ運動」と「愛の声かけ運動」

「あいさつ」は、相手とのコミュニケーションを円滑にするためのとても大切な行為です。

学校では、来校される大人の方はもちろん、先生方や友達同士でもあいさつができるよう指導をしています。児童会では、毎年のように「あいさつ運動」を公約にかかげて実践しています。しかし、これも日常に慣れてきてしまうと、だんだん声小さくなったり、進んであいさつができなくなったりしてきます。特に学校の友達同士などは、あらたまって他人行儀なあいさつは、なかなか定着しづらいものです。とはいえ、学校は、ひとが集まる小さな社会です。しっかりとあいさつができるように、指導を徹底して継続しようとしています。

さて、地域に目を向けてみます。先日、愛の声かけ運動の総会がありました。愛の声かけ運動は、昭和51年から続いている小清水町の歴史ある活動であり、地域に根ざした息の長い運動となっています。日常の取り組みとして、「挨拶の輪”おあしす運動”」と「青少年に声をかけよう運動」を掲げています。

話し合いの中で、知らない人が声かけをすると不審者扱いされるので、うかつに声かけができないという話題になりました。学校でも、おそらく善意の声かけだろうと思っても、子どもが不審に思ってしまうえば、駐在さんに一報を入れるというケースが実際にあります。不愉快な思いをされている地域の方がいると思います。本当に申し訳なく思います。



□不審者・防犯対策と理想の関係づくり



ある自治体では、「あいさつ運動」で防犯・不審者対策をしようという事例があるようです。不審者は挨拶されると、「顔を覚えられたかもしれない」「この地域は防犯意識が高い」と警戒するそうです。こうして、あいさつをすることで、犯罪を未然に防ぐ効果があるとしています。逆に、「知らない人には、挨拶をしない方が良い」とする考え方もあります。顔を見られてしまったばかりに、単なるいたずらでは済まない事態に発展する可能性も否定できないのです。

理想を言えば、地域住民みんなが顔見知りになり、子ども達にとって知らない人がいなくなって、みんながあいさつできる関係になれば、すべて問題は解決します。毎朝会う人、下校の時に声をかけてくださる人、近所の人、お店の人、子供会で会う人。みんなが声を掛け合うことで、家庭や地域全体が心ふれあう豊かなコミュニケーションができるようになります。簡単なことではないでしょうが、小清水はこんな温かい関係作りができる町なのではないでしょうか。

日	曜日	8月の行事予定	下校バス	
			14:45	16:00 16:10 (金)
1	水			
2	木			
3	金			
4	土	やったるDAY盆踊り		
5	日	北見地区吹奏楽コンクール		
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土	山の日		
12	日			
13	月	学校閉庁日		
14	火	学校閉庁日		
15	水	学校閉庁日		
16	木			
17	金	2学期始業式	○	16:10
18	土			
19	日			
20	月	委員会	○	○
21	火	クラブ 永井さん読み聞かせ(20分休み)	○	○
22	水	フッ化物洗口	○	○
23	木	やまびこタイム	○	○
24	金	全校朝会	○	16:10
25	土			
26	日			
27	月	町議会合同常任委員会学校訪問	○	○
28	火	合同研修特別日課	○	○
29	水	フッ化物洗口	○	○
30	木	修学旅行1日目(6年生)	○	○
31	金	修学旅行2日目(6年生)	○	16:10



今日から夏休みです。子ども達にはそれぞれの課題をもって、長い休みでしかできないことに挑戦してほしいと思います。また、気をつけてほしいのが、水の事故や交通事故です。特に、自転車の乗り方については、地域の方から危険な乗り方の指摘を受けています。観光目的の車両が増える夏休みは危険も増えます。あらためてご家庭でも安全な自転車の乗り方についてご指導をお願いします。



中学3年生職場体験受け入れ



先生方には休み時間もありません。



学級園の世話から絵添削指導のお手伝いも指導まで大忙しです。しました。

3日間の受け入れ期間に、小学校の先生方の日常を仕事の一部を見学体験し、いろいろなお手伝いもしてもらいました。初日は緊張していた4人ですが、最終日までしっかり勤めました。お世話になった先生方へ向けて、最終日の感謝の言葉や感想がとても素敵でした。

「楽しく過ごすことができました。」
 「小学校の時は、ただ楽しく過ごしていたけど、その陰には先生方の苦労や努力があることを知ることができました。」
 「学年によって教え方が違い、工夫されていたことがわかりました。」
 「子ども達に教えることの難しさ、働くことの大変さがわかりました。」

生徒の感想を聞いている先生方も受け入れて良かったと思えるスピーチでした。4人のこれからの職業選択や職業観形成に少しでも役に立つことができたら嬉しいなと思います。



縦割り活動「ヤッホータイム」

異年齢の子ども達が入り乱れて遊ぶ風景をあまり見かけることがなくなり学校には縦割り活動という名前の取り組みが生まれました。少子化、子ども達の多忙化、少年団活動や習い事の増加もその理由になると思います。

理由がどうであれ、自然発生的に異年齢が集まり遊ぶ光景は、学校でも1年生と6年生以外はあまりみることはできません。

しかし、異年齢で遊ぶことは、年長の子にとっても小さい子にとっても大切な社会経験・社会勉強なのです。

ヤッホータイムは6年生が企画運営する縦割り活動です。限られた時間ですが、みんなが楽しんで仲良くなれる活動を目指して頑張ります。この中で6年生のリーダーシップがしっかり発揮されています。

班	集合場所	ゲーム	必要な物(6年生が事前に用意します)
A	1の1	宝さがし	タイマー、宝
B	1の2	自己紹介ゲーム	やわらかいボール、流す曲
C	2-1廊下	ばくだんゲーム	ボール、流す曲
D	1年すみれ	ばくだんゲーム	ボール、タイマー
E	3-1	お絵かきですよ	黒板、チョーク、タイマー、くじ
F	4の1	ばくだんゲーム	ボール、くじ、流す曲
G	5の1	宝さがし	O、Xと書いている紙、小さめの箱
H	6-1	新聞たたみゲーム	新聞
I	くるみ	フルーツバスケット	オレンジ21脚
J	チャレンジ	じゃんけん自己紹介	なし



「ご当地グルメ」作りに協力



楽しくて・よくわかる授業で、子ども達も大喜びでした。



地元めしは、給食と一緒にいただきました。二つともとてもおいしかったです。

HTBイチオシMCヒロ福地さんがプロデュースする「地元めし企画」に小清水が参加します

開町100周年記念事業として、小清水の将来を担う小学生も参加してご当地グルメを創ることになりました。

小学校としては「JA小清水協力の食育授業」と「地元めし試食+アンケート記入」に協力させていただき、小清水の農産物について学び、おいしくいただきました。

【アンケートから・・・】

- 「太麺でおいしかったと思います。」
- 「味付けが濃いので薄い方が良いと思いました。」
- 「これは食べたことがないおいしいからすぎです。」
- 「具が大きすぎてこぼれます。もっと食べやすい方が良いと思います。」
- 「チーズを入れると伸びて楽しいと思います。皮がカリカリでおいしかったです。」

全校アンケートの子ども達からのしっかりとした意見に、担当者の秋田さんもびっくりしていました。子ども達は、これからも小清水に根付いていくメニューになることを願いながら試食してくれていたようです。

地元めしの完成の披露は22日の「ふるさと祭り」で行われます。お楽しみに！！

夏休みこそ、豊かな「読書体験」を！

「本を読むと国語の成績が上がる！」と期待されますが、それだけでは無く、集中力、論理的な思考力、コミュニケーション力等、子ども達の成長にとって良い教育効果がたくさんあります。だから、「本を読みなさい！」と言いたくなりますが、それは逆効果とも言われます。

本を強制的に読ませても、教育効果は半減するらしいのです。

子ども達にとって大切なのは、本との出会いの環境を準備してあげることです。図書館のイベントに出かけたり、夏休みの様々な体験と本とを結びつけたりすることもできます。マンガや映画ドラマの原作本がきっかけになる場合もあります。子ども達にはそれぞれの「本っておもしろい」の「入り口」があるはず。豊かな「読書体験」とは、本好きになる「入り口」探しです。

10日は図書館の司書さんに本との出会いの場をつくっていただきました。毎年実施していただいているブックフェスティバルです。「本っておもしろい」の「入り口」が体育館いっぱいにならば子ども達を楽しい世界に誘ってくれています。12日には5・6年生にブックトークも開かれました。

11日には、お話ポエムのみなさんの読み聞かせ会でした。ホールに何カ所かに分かれて読み聞かせをしていただきました。これも「入り口」の一つです。

ぜひ、この夏休みは、ご家庭でも本との出会いの場をたくさんつくって、子ども達を「入り口」まで連れて行ってあげてください。



ブックフェスティバル



おはなしポエム「20分休み読み聞かせ」